

第8回/オンライン

振り返り:実習①の振り返りと実習②の準備

授業全体の目的

- ・体験から得た気づきを深める
- ・2回目の体験に向けた準備をする

終了後の学生のイメージ

- ・次回実習に向けて、具体的に役割分担・準備計画が立ててある
- ・実施方法のお子さんの状況が理解できている

進行の詳細

時間	内容の詳細	備考・留意点他	資料
【10分】	<ul style="list-style-type: none">●本日のプログラム●アイスブレイク <p><グループワーク></p> <p>私が子どものころに好きだった遊びは？</p> <p>子ども頃好きだったキャラクターは？</p> <p>一番直近で子どもと関わった体験は？</p>	※アイスブレイクで子どものイメージをより引きつけること、チームで子どもに対する個人の状況を共有	
【25分】	両立家庭へのヒアリングの振り返り(4~12) 「仕事」「家族・愛」「学習」「余暇・地域」話を聞いてみて、特に印象的だったことは？ ー改めて、ステップアップシートに記入	※共働き家庭への印象の変化を確認 「家庭の状況によるサポートの違い」 「周りの巻き込み工夫」 いくつかのポイント	1_3 ステップアップシート

	<p>個人ワーク（5分） ステップアップシートに4つのLを意識しながらヒアリングより気づき・学びを記入</p> <p>グループシェア（10分） 全体シェア（10分） 特に印象に残ったことを発言</p> <p>ー改めて、「共働き」ときくとどんなイメージ？「大変」だけど・・・工夫したり、パートナーと話し合っ分担したり、周りを巻き込んだり、意識的に自分の時間を作ったりしながら子どもと関わっている。</p> <p>ーさらに、子育て家庭と言っても状況は様々、小さなお子さんのいるご家庭と小学生のお子さんがあるご家庭では状況は異なるし、小さなお子さんが1人のご家庭と、3人兄弟のご家庭ではやはり状況が異なる。</p> <p>ー子どもは関係性の中で育つという話をしました。親戚だけでなく、友人や地域サポートなど多くのサポート先を準備しておき。「孤育て」にならないようにしましょう。</p> <p>ー子どもは思っている以上に大人です。子どもに接するときは、一人の人として接し、お手伝いをしてもらった</p>	<p>トを紹介しながら、工夫をして家庭を築いていることを示す。</p> <p>※グループ内でのシェアが終了した後、全体でもシェアを行う</p>	
--	--	---	--

	<p>り、自分でできることは自分でやるようにすすめてみましょう。</p> <p>ー（再掲）何より、子どもは、パパ・ママが生き生きと笑顔で仕事や家事、育児をしている姿を見えています。地域や会社を巻き込みながら笑顔で過ごせる拡大家族を作っていきましょう</p> <p>ーまとめ</p> <p>共働きという画一的なものはありません。今置かれている環境や家庭の状況子どもの成長に合わせて柔軟に変化させていくことが大切です。</p>		
【20分】	<p>実習②にむけて共通体験実習準備（13～17）</p> <p>グループワーク（15分）</p> <p>目的：計画シートのブラッシュアップ</p> <p>ー時間があれば、各グループが検討している実習内容を全体シェアする</p>	<p>ご家庭ヒアリングを元にさらに実施内容を検討する時間を持つ。</p> <p>チームごとに実習までに連絡を取る手段を持つように伝えるとよい</p>	6_3_共通体験計画シート
【25分】	<p>子どもの行動から背景を考えよう（18～24）</p> <p>全体ワーク</p> <p>設問1)</p> <p>3歳の男の子</p> <p>公園で砂場遊びをしよう♪と誘ったら</p> <p>「砂場遊びはイヤ！」と言われた</p> <p>①原因をみんなで考える</p>	<p>※子どもと共通体験の際に起こり得る、計画した通りに子どもが動かない・・・という状況が起きた時に、こどもの内側では何が起きているのかを知るワーク</p>	8_3_背景を考えるワークシヨップ

	<p>10 個リストアップ</p> <p>②リストアップされた 10 個それぞれの対処方法をリストアップ</p> <p>ースライドのマグカップを見て、どう思いますか？一人のひとは「可愛い」と思うかもしれませんがもう一方の人は「ださい」と思うかもしれません。その見え方は、その物自体の良し悪しではなく、それぞれの人の感じ方の違いですよね？その人の価値観が判断しています。</p> <p>ワークでも実際に考えてわかった通り、一つの行動の裏には 10 通りの状況が簡単に想像できます。しかし、人は行動で判断しています。見える「行動」だけで判断するのではなく、背景を理解するためにコミュニケーションがお互いに大切です。</p> <p>※たった一つの行動だけと考えられる原因はこれだけあり、対処法も多様である。コミュニケーションを諦めず、行動の背景にある価値観に目を向けることを促す</p> <p>※時間があれば、設問 2 も実施</p>	<p>※想像しなかった原因や対処法が幅広く出てくること望ましい。</p> <p>否定はしない。</p> <p>※コミュニケーションの大切さは子どもとの関わりだけでなく、多様性を求められる社会においては大人とのコミュニケーションでも大切なことも紐づけるとよい。</p>	
【5 分】	<p>実習に向けて (25~27)</p> <p>コミュニケーションのポイントを再掲</p>		

【10分】	ステップアップシートの記入		
【5分】	次回について		